



土師器と須恵器 - 禁野本町遺跡出土の土器 -



土師器



須恵器

土器とは、粘土で形を作り焼いた器で、遺跡を発掘するとたくさん出土します。日本列島では縄文時代から作られましたが、その時代の人々の生活にあわせた様々な形のものが作られてきました。上の2枚の写真は枚方市の禁野本町遺跡から出土した奈良時代の土器です。「赤色系の土器」と「灰色系の土器」の違いは为什么呢？

赤色系の土器は「土師器」といいます。粘土紐を輪状に積み上げて器の形を作り、地面を掘り込んだくぼみに置き、上から藁などをかぶせ、野焼きしました。弥生土器の流れをくむ、古墳時代以降の軟質の土器です。一方、灰色系の土器は「須恵器」といい、この土器を作る技術は古墳時代中頃（5世紀初め頃）に、朝鮮半島から日本列島に移ってきた人々によって伝えられました。ロクロの回転を利用して器の形を作り、丘陵などの斜面に掘ったトンネル状の窯（あな窯）で焼きました。窯は野焼きより密閉されるため、約1100度まで焼成温度が上がり、約800度前後で焼かれる土師器より硬い土器が出来上がりました。

土師器は皿や杯などの食器のほか、熱に強い性質を持つため直接火にかける煮炊き用の甕など、須恵器は水漏れしにくいため液体の貯蔵用の甕や壺などが作られ、それぞれの用途にあった土器を使い続けました。

どちらも単色で装飾性がないように見えますが、土師器皿の表面には右の写真のような細かい線が見られます。これは「みがき」という手法で、土器の表面の小さな穴を硬い棒などでこすってつぶし、滑らかにして水が漏れるのを防ぐものです。そのみがいた痕が光を反射するので、土器の表面に光沢感が出て、その痕跡は装飾としても用いられました。

ご覧になる機会がありましたら、注目してみてください。



土師器皿の模様（拡大）

生まれかわった「はぎれ」

着物が日常着だった頃、外出するときには^{きんちやく}巾着にお金や小物などを入れて持ち歩きました。巾着は布でつくったもので、底が丸く口の部分に紐を通し、しばって使います。現在でも、小さな巾着に小物を入れて持ち歩いている人は多くいます。

写真は枚方宿の旧家に残されていた巾着です。大きさは、縦 30 cm、横幅 38 cm、底が約 20 cm 四方の大ぶりのもので、色とりどりの布を継ぎ合わせてつくられています。布は表面だけで 10 枚、裏面は 9 枚、底は 4 枚、口紐を通す部分に 2 枚ずつ、合計 25 枚のパーツでできています。布の大きさは写真中央下の茶色のものが最も大きく 16 cm × 11 cm、小さいものは写真左上の水色の布で 3 cm × 9 cm ほどです。幅も長さも少しずつ違う布が表裏それぞれ同じ大きさになるように組み合わせて縫われていますが、脇にあたる部分を長めにして底が丸くなるように工夫されています。すべてのパーツを縫い合わせ、口の紐を通す部分と裏地をつけて仕上げられています。

この巾着は、ぼかしの入った朱色、紫と茶色、紺地模様、黄緑色や花柄・格子柄など全部で 11 種類の布地が使われています。中でも朱色の布は全部で 8 枚使われていますので、この布をメイン素材としてデザインされたことがわかります。同家にはこの巾着に使われているものと同じような大きさの布が箱に収納されて残っていました。

着物は江戸時代からリサイクルされていて、着古した大人用の着物は子ども用に仕立て直しました。その後は使える部分を残し、いろいろな布を組み合わせて布団の生地や小物などに転用していました。この巾着はそのような着古した着物のはぎれでつくられています。単なるリサイクルではなく、自分好みのカワイイ小物につくりかえた、むかしの女性が手しごとを楽しんだようすがうかがえる一点です。



はぎれで作った巾着

イベント
開催予定

◆ お知らせ ◆

イベント名	開催日
輝きプラザきらら展示ルームで開催しています	
① 文化財展示会「百済王らは朕の外戚なり―百済王氏と枚方―」	3/18 (火) ~ 10/20 (月)
旧田中家鋳物民俗資料館で開催します	
② ちょこっと展「手しごと」	開催中~ 3/23 (日)
③ 七宝講座 兜	3/21 (金)
④ わくわく！子ども鋳造体験	3/27 (木)
中央図書館で開催します	
⑤ 古文書入門講座 (全5回)	6月 (予定)
旧田中家鋳物民俗資料館・市内工場で開催します	
⑥ くらわんか鋳物シリーズ 第3回 クボタ枚方製造所	3/20 (木・祝)

◆ 文化財展示会

「百済王らは朕の外戚なり―百済王氏と枚方―」

平安時代の初め、桓武天皇が「母方の親族」というほどに信頼を寄せていた百済王氏。その本拠地があった交野の地を桓武天皇はたびたび訪れて、鷹狩りなどを楽しましました。

今回の輝きプラザきらら文化財展示会では、市内に残る百済寺跡や禁野本町遺跡などについてご紹介いたします。

第33 輝きプラザきらら文化財展示会

百済王らは朕の外戚なり ―百済王氏と枚方―

令和 7 年
3 月 18 日 (火) ~ 10 月 20 日 (月)

開催場所
輝きプラザきらら 2 階展示ルーム

【期 間】4 月 ~ 10 月 30 日 (日・祝は 17 時まで)
【休 日】4 月 19 日 (水) 休館日
【入 場 料】無料 (鑑賞券は別途販売)
【観覧時間】10:00~17:00 (最終入場 16:30)

大規模な出土品展示
「百済王」は、一世紀前百済の王に
百済王の墓に埋葬された百済王の陵墓が展示されます

企画：枚方市 協賛：びわこ湖 文化財館 出展：枚方市 電話：072-941-1411・FAX 072-941-1228